

厚生労働省認知行動療法研修事業で実施する

スーパービジョンにて情報を提供いただいた方へ

このたび、厚生労働省認知行動療法研修事業(以下、当該研修事業)で提供された情報等の一部を、下記の研究のために使用いたしますので、下記のとおり情報公開します。この研究で情報を使用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございません。

ご不明なことなどがありましたら、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

1. 対象となる方

スーパービジョン形式の研修において患者として認知行動療法を受け、将来計画される認知行動療法研修の質、安全性、効果などに関する研究に同意した上で研修事業に参加された方

課題名:厚生労働省認知行動療法研修事業

責任者:国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター 久我 弘典

該当の期間:2014 年度以降の研修事業

2. 試料・情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名:国立精神・神経医療研究センター

所属・氏名:認知行動療法センター研修指導部・浜村 俊傑

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名:認知行動療法に関する研修事業の評価研究

研究期間:研究実施許可受領後から2026 年 1 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者):国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター 浜村 俊傑
(共同研究機関)

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室 研究責任者 中川 敦夫

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 研究責任者 菊地 俊暁

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料:該当なし

(取得方法) 該当なし

情報等:基礎情報(年齢、性別)、うつの症状評価(BDI、QIDS-J)
(取得方法) 当該研修事業事務局より取得

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

1. 【利用目的】 厚生労働省認知行動療法研修事業の教育的効果を評価します。本研究を実施する意義としては、研修の質の向上及び認知行動療法の普及に寄与することが期待されます。具体的には以下の点を検証します。
 - (ア) 受講は、認知療法・認知行動療法の算定件数の上昇と関連している。
 - (イ) ワークショップ形式の研修受講後において、研修前と比較して認知行動療法の態度、自己効力感及び実施件数の増加と関連している。
 - (ウ) スーパービジョンにおいて、患者のうつ症状は、患者の年齢と性別、治療者の認知行動療法実施経験の有無に関わらず低減される。
 - (エ) 認知療法尺度改訂版(CTRS-R)は一定の妥当性・信頼性が認められ、改定前の認知療法評価尺度(CTRS)よりもそれらが高い。
 - (オ) 認知療法評価尺度(CTRS)および認知療法尺度改訂版(CTRS-R)の得点が高いほど、患者のうつ症状はより認知行動療法の前後においてより大きく低減する。
 - (カ) その他、当該研修事業の教育及び実装に関する評価

【利用方法】 提供を行う際には、研究計画に従い安全管理措置を講じたうえで取り扱います。個人情報取得していないため利用されることはありません。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名:国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属: 認知行動療法センター研修指導部 氏名: 浜村 俊傑

電話番号 :042-341-2712(内線:3828)

e-mail:thamamura※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

8. 本文書の公開場所

1. 国立精神・神経医療研究センターホームページ内の「研究情報の公開」のサイト

2. 厚生労働省認知行動療法研修事業のサイト

公開場所の理由: 当該事業の事務局は、対象者の連絡先を取得しておらず、現時点ではインターネット上での研究実施の公開しか手段がないため